

電氣を使わない暮らし

私たちの暮らしに電氣が取り入れられ始めたのは、明治から大正期にかけて、室内灯が^{あんどん}行灯やランプから電灯に変わったことがきっかけでした。それまでの^{あんどん}行灯やランプに比べ、スイッチひとつで明かりが^{とも}灯る電灯は、快適で便利な暮らしの始まりを象徴していました。

その後、暮らしの快適さを追求してさまざまな電化製品が開発され、昭和 30 年頃からは家庭内の電化が進み、多くの生活用具が電化製品へと変わっていきました。

電化製品の多くは、暮らしの快適さを求めた結果として生まれた生活用具です。しかし、数十年前までは、電氣を使わない生活用具が当たり前のように存在していました。

本展覧会に出品される「電氣を使わない生活用具」を見ると、確かにスイッチひとつで使える電化製品に比べて、手間がかかるものばかりです。しかし、その煩わしさを超えて、これらの用具がどのように成り立ち、どのように使われていたのかを知ると、積み重ねられてきた暮らしの知恵や、不便さを補うためのさまざまな発想に驚かされることでしょう。

ろうかんしきちくおんき 蠟管式蓄音機

明治期の音楽鑑賞用具



機械式計算機

昭和期の計算機



バリカン

明治～昭和期の散髪用具

片手式

両手式

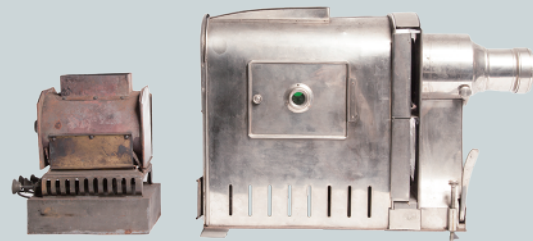


人の知恵と工夫が生み出した
数々の生活用具をご覧ください



とうゆしきげんとうき 灯油式幻燈機

明治期の映写機



とうしゃばん

謄写版

別名 ガリ版

昭和期の印刷用具



下関市烏山民俗資料館

〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚5180番地
Tel/083-774-3855 Fax/083-774-3856

川棚温泉交流センター「川棚の杜」内

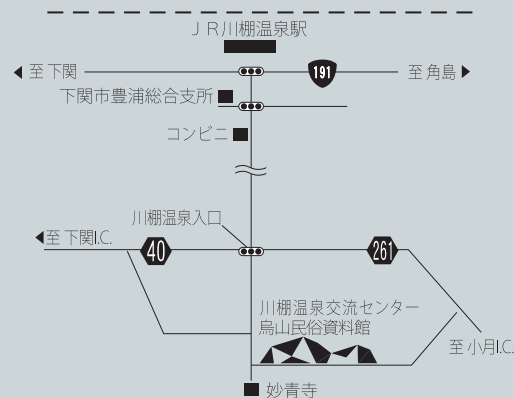
【ご利用案内】

- 開館時間 9:00～19:00(入館は18:30まで)
- 観覧料 無 料
- 休館日 12月31日～1月3日

【交通アクセス】

- JR川棚温泉駅より車で約3分
- JR新下関駅より車で約25分
- 中国自動車道 下関I.C.より車で約30分
- 中国自動車道 小月I.C.より車で約20分

※展覧会開催中に展示替えを実施する場合がございます。詳しくは、当館HPかSNSをご確認ください。



／
烏山民俗資料館ホームページ
<https://www.karasuyama-museum.jp>



／
烏山民俗資料館公式SNS
Facebook